

名前【 】

- ① 養父市の能座地区の棚田が再生したきっかけは、何だったのですか？次の文の()に適することばを書き入れなさい。
- ()政権が()年に本格化させた()で、地域限定で規制を緩和する同特区は()の一環にも位置付けられ、農業に挑戦する()に大幅な特例が認められた。
- ② 養父市能座地区では、どのようなことが行われたのか、次の文の()に適することばを書き入れなさい。
- 三木市の()が()と立ち上げた「アムナック」は、能座地区を中心に()の地主約()人から借り受けるなどした約()ヘクタールで()を育てる。収穫した米は隣の朝来市にある()で()に。
- ③ 民間団体が14年に発表した「消滅可能性都市」に神戸市で唯一挙げられたのは、何区ですか？ []
- ④ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

農村人口減特区で活路

「異次元の施策に取り組み」。勇ましい掛け声とともに、安倍政権が2014年にスタートさせた「地方創生」。東京一極集中と地方の人口減に歯止めをかけるのが狙いだが、現場を歩くとその成果はまだら模様を描く。

2000日超の決算

地方創生

秋風が吹き始めた山あいの斜面に、稲刈りを終えたばかりの棚田が連なる。養父市南部の能座地区。農会長の高階博さん(68)は「だいぶ軌道に乗ってきた」と明るい表情を見せる。

棚田がよみがえったのは15年春。農家の高齢化に後継者不足が重なり、地区内の田んぼ約14割は半分以内が休耕田になっていた。もう1山に戻すしかないか。住民にもあきらめムードが漂っていた。

再生のきっかけは、安倍政権が14年に本格化させた国家戦略特区だった。地域限定で規制を緩和する同特区は「地方創生」の一環にも位置付けられ、全国で1弾に選ばれた養父市では、農業に挑戦する企業には、農業に特約が認められた。現在、参入は13社。このうち三木市の建築資材販売会社が住民と立ち上げた「アムナック」は、能座地区を中心に休耕田の地主約50人から借り受けるなどして約8割で酒米を育てる。

ある酒造会社で日本酒だ。今夏には初の販売に加え、海外輸出にも道筋を付けた。活発な動きは波及効果も生んだ。長らく途絶えていた

た地元消産団が復活したのだ。「年寄りばかりだけど」と高階さんは笑いつつ、「地域を守る機運が芽生えた。次は移り住んでくれる人が増えるのを期待したい」と

兵庫県内唯一の政令指定都市・神戸でも今後、人口減少は加速する。1970年代、新婚夫婦に人気だったニュータウン

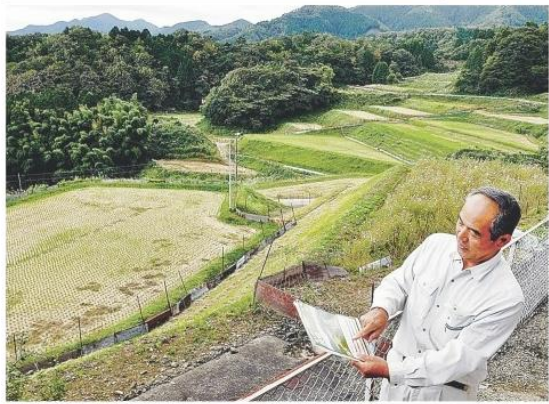
移住者争奪、都市部で過熱

地方創生 人口減少の克服や地域経済の活性化を目指し、安倍晋三首相は2014年9月の内閣改造で担当相を任命。省庁横断で推進するため「まち・ひと・しごと創生本部」も立ち上げた。全国の自治体は子育て支援や移住促進、雇用創出などに向け、具体的な施策や数値目標を盛り込んだ総合戦略を策定。市町村などが柔軟に活用できる新型交付金も導入された。東京一極集中是正のため、政府関係機関の地方転移も取り組みの一環に挙がるが、動きは鈍い。

団地住民や改修に興味を持つ人が集い、古い建物の生かし方などを学び合う。市の外郭団体ともタッグを組み、団地と地域の活性化へ模索を続ける。

地方創生をうたい、自治体が繰り広げる「移住者争奪戦」に違和感を持つ中原さん。「まずは住民同士で暮らやすさを高め、子どもたちに残したい街にする、という思いが大切」と力を込める。

減り続けるパイの奪い合いだけでは、いずれ行き詰まるのは明らかだ。



特区制度をきっかけに再生した棚田に目を細める高階博さん。「課題は継続した取り組み」と話す＝養父市能座

将来を見据える。養父市によると、特区指定前の13年度に27件だった「空き家バンク」の利用希望が、16年度は3倍の65件にまで増えた。全国でも数少ない成功例の一つだ。

「住むからには団地全体を暮らしやすくする覚悟で移ってきた。開発から4年以上たつ高倉台団地で、夫と長男の3人で暮らす自営業中原あずささん(41)はそう話す。15年に購入した一室のリノベーション(改修)過程を全て公開し、入居後も月に1度は自宅を開放している。

「田中陽一、段 貴則」